



2019年11月1日

各位

会社名 株式会社キムラタン  
 代表者名 代表取締役 清川 浩志  
 (コード番号 8107 東証第1部)  
 問合せ先 常務取締役 木村 裕輔  
 (電話 078-806-8234)

2020年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異  
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月10日に公表いたしました、2020年3月期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の業績予想値と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,400	百万円 △150	百万円 △160	百万円 △165	円 銭 △1.49
今回実績値(B)	2,172	△291	△297	△300	△2.69
増減額(B-A)	△228	△141	△137	△135	—
増減率(%)	△9.5	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	1,742	△298	△310	△320	△3.14

2. 2020年3月期通期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,700	百万円 30	百万円 10	百万円 5	円 銭 0.05
今回修正予想(B)	5,400	△130	△150	△160	△1.40
増減額(B-A)	△300	△160	△160	△165	—
増減率(%)	△5.3	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	4,042	△622	△639	△654	△6.15

### 3. 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異の理由

当第2四半期の売上高は、4月において例年より気温の低い日が続き、夏物の立ち上がりが遅れたことや、残暑の影響により秋物販売が伸び悩んだこと等により、Baby Plaza 及び BOBSON ショップの既存店の売上高が前期実績を下回る結果となりました。一方、ネット通販の売上高は前年同期比で伸長し、2019年3月に連結子会社化した中西株式会社（以下、「中西」といいます。）の売上高が純増となりましたが、計画値には至りませんでした。

以上の結果、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を下回る結果となりました。

売上高が予想値を下回ったことと、売上総利益率が製造原価低減により前年同期より改善したものの、目標値には届かなかったことにより、営業利益は前回予想を下回る結果となり、それに伴って経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は各々予想を下回りました。

### 4. 通期業績予想の修正の理由

当第2四半期累計期間の売上高は、中西の子会社化により全体では24.7%の増収となりましたが、既存アパレル事業の売上高は、前年同期比2.5%の減収と厳しい結果となりました。しかしながら、四半期別の売上高は、第1四半期の前年同期比5.0%の減収に対し、第2四半期会計期間（2019年7月1日～2019年9月30日）では0.3%増と微増ながらも増収に転じております。第3四半期以降は、新ブランド“n.o.u.s”、「愛情設計」のリニューアル効果による増収も見込まれ、今後も、店舗運営の一層の強化とリアル店舗とECの連携強化に取り組み、売上拡大に努めてまいります。

さらに、粗利率改善に向けた生産拠点のシフト、一層の経費削減も進行させており、業績の回復に全力で取り組んでまいります。

加えて、2019年8月27日付公表の「第三者割当による新株式の発行及び第14回新株予約権の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、当社代表取締役である清川浩志氏及び当社第2位の株主の関係を有する株式会社大都商會を割当先として、新株式及び新株予約権の発行を決議し、同9月13日に約2億円の払込が完了しました。

これにより、前掲の戦略実行をより確かなものとしながら本業の業績回復と全社の経営再建に鋭意取り組んでまいります。

しかしながら、昨今のアパレル市場の厳しい環境を考慮すると当第2四半期の落ち込みをもカバーすることは厳しい見通しであり、通期の業績予想を修正いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上